

令和5年度

赤羽根の里だより



茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和6年3月13日(水)

校長 高橋 励

Dear Student(*^_^*)

きょう わたし
「今日の私たちがイケてますか？」
だい かいそつぎょうしゅうしよしよじゆよしき
～第38回卒業証書授与式より～

きのう そつぎょうしゅうしよしよじゆよしき そつぎょうせいだいひょう こと
昨日の卒業証書授与式の「卒業生代表の言
ば」のワンフレーズを拾い出しました。ご参列いた
らいひん かつがた くちぐち そつぎょうしき
だいた来賓の方々は、口々に「よい卒業式だった」
とおほめくださいましたので、めちゃくちゃイケて
たんじやないでしょうか(*^_^*)

と、これだけだと、とても「かるーいカンジ」に受
け止められそうですが、実は、とっても想いのこも
ったワンフレーズでした。

ほんらい そつぎょうせいだいひょう ことば しき さんれつ
本来、「卒業生代表の言葉」は、式に参列する
ざいこうせいぜんいん き こんかい しめん
在校生全員が聴けるはずのもの。今回は紙面を
かりて在校生のみなさんにお伝えします。

窓から差し込む光が日に日にあたたかくなり、
校門の木々の実もふくらむ季節となりました。また、
私たちがそれぞれの道に歩みを進める季節でも
あります。

卒業生112名 私たちは今日卒業します。

新しくぶかぶかの制服に緊張しながらも少し大人になれたような気がした入学式。「これからどんな楽しいことが待っているのだろう。」そんな期待を抱く私たちの出鼻をくじいたのがコロナウィルスでした。当時はまだコロナウィルスの影響があり、楽しみだった遠足が延期になったり、ホールでの合唱祭ができなかったり。できることとできないことが入り混じる一年でしたし、思い通りにできたことが少ない一年でした。しかし、その中でも自分たちで工夫をし、学校生活を楽しむ



ことができました。今思えばこの一年があったからこそ、今の私たちがいるような気がします。

二年生。様々な制限が解除され、行事も通常通りに行なえるようになりました。私たちはこれまでの我慢を一気に爆発させるかのように全



力で楽しみました。体育祭や合唱祭はもちろん、先輩たちができなかった職場体験という貴重な授業も再開することができました。たくさんの行事の中でも特に楽しかったのはキャンプです。自然の中でのんびりと取り組んだプレゼンテーション活動、コテージでの夜、みんなで食べた朝食、そして、各クラスで用意したダンスや劇で大いに盛り上がりました。最後に行なわれたバンドではみんなで肩を組みながら歌を歌ったことがとても思い出に残っています。小学校六年生の時、修学旅行に行くことができなかった私たちにとっては特別な宿泊行事となりました。

残された中学校生活もあと一年となった三年生。最後の体育祭ではこれまでの経験を生かし、クラスごとに作戦を考えたり、時間を惜しんで練習をしたり、各クラスの目標に向かって練習に励みました。当日は、どのクラスも全力で競技を行い、熱い一日にすることができました。

修学旅行では、生徒主体の行事となるよう実行員会を中心に何度も会議を重ね、じっくりと計画を練りました。しかし、京都班別自主行動ではそれぞれの班に予想外のことが起こりました。そんな状況でもみんなで臨機応変に対応できたことで、神崎学年の強みを実感し、自信をもつことができました。



合唱祭では先輩たちの合唱を超えることを目標に一致団結して練習しました。最優秀賞がどこなのかわからないくらい、どのクラスも完成度を高められたことはもちろん嬉しかったです。それ以上に心をそらえて学年合唱を歌ったときにみんなが一体となり、心が揺れる瞬間に出会えたことに感動しました。

これらの行事や日常生活を精一杯取り組むことで、学年で掲げてきた「イケてる学年」として心ざわしい三年間を送ることができたのではないかと考えています。

在校生の皆さん。皆さんには私たちがどのように見えていたでしょうか。私たちは赤中のバトンをうまくつなげることができましたか。赤中のバトンは、一人では繋ぐことができないものだと思います。仲間と共に、時に頼り頼られながら、困難を乗り越え、この先へ繋いでいってください。



お父さん、お母さん。今まで私たちの成長を見守ってくれてありがとう。悩みを本気で聞いてくれたから、心から叱ってくれたから、今の自分があります。もっと立派になって自立できる日まで見守ってください。

先生方。時に厳しくも優しくご指導くださりありがとうございます。先生方がかけてくださった言葉の数々に支えられ、私たちは安心して挑戦し、こんなに成長することができました。

「神崎先生。今日の私たちイケてますか？」

今日のこの姿で感謝の気持ちを伝えられることが何よりも嬉しいです。本当にありがとうございました。

今日、一緒に卒業するみんな。小学校から九年間を共に過ごし、一緒にいることが当たり前になっていました。だからこそ思い通りにいかない時も、不安になった時も今日という日まで頑張ってくれたんだと思います。これから先、「幸せと思える日」。「夢に破れくじける日」。「誰かを好きでいる日」。いろんなことがあると思うけれど、

これまでの経験を糧に少しずつ進んでいきましょう。一緒に泣いたり、笑ったりするのが今日で最後だと思うととても寂しいですが、私はみんなと過ごした日々を決して忘れません。いつかきっと、また笑顔で会いましょう。みんな今までありがとう。



この三年間、かけがえのない思い出と共に過ごしてきた赤羽根中学校。心から感謝いたします。ありがとうございました。

最後になりますが、私たちの大好きな赤羽根中学校が今後も素晴らしい歴史を刻んでいかれますよう祈念し、別れの言葉といたします。



令和六年三月十二日

第三十八回卒業生代表

Dear Student(*^_^*)
ざいこうせい
在校生だってイケてたよ！



きも そつぎょうしき つく あげ
気持ちよい卒業式を創り上げるためにありがとう！やるべきときはやる。そんな姿がみられた前日準備の時間でした。

